



志村工業株式会社は、2022年に藤工業株式会社のグループの一員となりました。これまで経営の難しさと責任の重さを一身に背負い、挑戦を続けてきた代表取締役社長の佐々正和さんは「M & A は間違いなく正しい選択だった」と語ります。佐々社長に、この決断に至るまでの経験を振り返っていただき、今後の展望を伺いました。

#### 前職までのキャリアについて教えてください。

私の父は、誠和鉄筋という会社を経営していました。幼い頃からいつかは自分の会社を持ちたいという夢を持っていた私は、16歳で父の会社に入社。しかし、18歳のときに会社が倒産してしまったのです。その後、別会社を運営するおじが事業を引き継いでくれたため、私もそこで働きました。そして21歳のときに独立し、父の会社の名前を引き継いで、同級生と2人で誠和鉄筋を再び立ち上

げたのです。

当時、私たちは先代の社長が率いる志村工業から仕事をもらっていました。その後、少しずつ取引先を拡大していきましたが、私が39歳のとき、志村工業の前社長が会社をたたむ決断をします。事業規模が縮小する中でも、誠和鉄筋には最後まで仕事を回してくれていたのです。実は以前から後を継いでほしいと打診されていたのですが、決断できずにいました。しかし、とうとう会社が無くなるのが現実になったとき、このまま終わらせたくないという思いが強くなり、社長を引き継ごうと決意したのです。

#### 社長を引き継いだのち、どのような苦労がありましたか。

誠和鉄筋は2次下請けでしたが、志村工業は1次下請けのため、お客様の層が全く異なります。当時、1次下請けだった志村工業のお客様は、昔



からお付き合いがあるメインの大手ゼネコンさんのみ。そこで、2次下請けの仕事も行いつつ、とにかく新規開拓に奔走しました。下請けを探しているという情報があればすぐに挨拶に行き、どれほど小さな工事でも見積もりをもらってきたものです。そうして着実に実績をつくり、徐々に取引先を増やしていきました。その結果、社長を継いだ際には1億円程度だった売り上げは、その7～8年後、藤工業のグループになる頃には10億円まで拡大。取引先も10社ほどに増えました。

会社を成長させる過程では、多くの苦労がありました。もちろん、従業員の皆さんが現場をしっかり収めてくれているからこそ、次の仕事につながっています。ただ、やはり数十人の従業員の生活を支えるというプレッシャーは、他の皆さんとは共有できません。前社長も、こうした孤独の中で戦っていたのでしょう。

#### M & Aに際しての所感をお聞かせください。

藤工業のグループに入るときには、売り上げや利益は過去最高の状態でした。経営を危ぶんで売却したわけではありません。むしろ、エネルギー溢れる志村工業をさらに発展させるには、私だけ

では力が足りない判断したからです。

志村工業のメンバーにとって、より働きやすい環境をつくりたいという思いは、M & A 以前から抱いていました。結果として、待遇もより良くなり、安心して仕事ができるようになったと思います。この決断は、私や志村工業にとって正解だったと言えるでしょう。

#### 最後に、今後の展望をお願いします。

藤工業のグループに入ってから3年が経ち、ようやく現場も落ち着きを見せてきました。これまでは社長として孤軍奮闘していたところがありましたが、今の私は従業員の皆さんと同じ「藤工業のグループ会社の人間」。同じ目線で物事を考える仲間として、悩みや喜びを共有できるようになり、非常に嬉しく感じています。

今期は利益が上がりましたが、今後も安定した受注を獲得するためには、基盤の強化が必要不可欠。今の志村工業は組織としての強さがあり、幹部メンバーも私と同じ目線で会社のことを考え、動いてくれるようになりました。今後の成長にますます期待しています。

この先、日本は人手不足が深刻化し、さまざまな市場が縮小してくるでしょう。10年後20年後に、今のように外国から労働に来てもらえる国力があるとも限りません。だからこそ、機械化できるところは進め、省人化を図っていくつもりです。

55歳を境に、社長業を後進に譲るつもりだという佐々社長。寂しさを抱えつつも、より若くエネルギッシュな人材に経営を任せの方が、会社の成長に良い影響を及ぼすだろうと考えているからです。志村工業の明るい未来のために、これからも挑戦の日々は続きます。



# 仕事流儀

第2弾

My Style

基礎工事課

おおはし かずき  
大橋 一樹さん



経験を重ねるほどに見えてくる、仕事のやりがいや面白さ。若手の頃にはなかなか感じる事ができなかった仕事の奥深さについて、ベテラン社員の大橋さんに詳しくお聞きしました。

## 現在の業務内容 戸建て建築の基礎工事

現在は戸建ての基礎工事を担当しています。戸建て建築の基礎を築くため、土を掘り、鉄筋を組んでコンクリートを打つまでが仕事です。元々、社長のもとで16歳から鉄筋屋としてお世話になっていたのですが、一時独立。その後、改めて藤工業に戻り、10年前に会社が基礎工事の請負を開始したことがきっかけで、現在の担当となりました。

## 仕事を「面白い、奥深い」と感じた経験

### 多様な現場で多様な工程に携わること

工事では、各工程をそれぞれの専門業者が請負う形で段階的に進んでいきます。長年従事してきた鉄筋作業は、鉄筋を組むことだけが仕事でした。一方、現在の基礎工事では、土台を掘るところから型枠、そして鉄筋を組んでコンクリートを打つという、多様な施工プロセスに携わる事ができるため、工事の奥深さや面白さをより実感しています。また、1つの現場の工期が短く、色々な現場を次々にこなしていく基礎工事では、天候などの影響を考えつつ臨機応変な計画を立てる必要があります。こうした特徴も、大変ですがやりがいを感じられることの1つです。

## 藤工業だからこそできる仕事

### 現場の声が製品に活かされる

現在当社のメインの製品は、ユニット鉄筋です。工場である程度組み立てた鉄筋のことで、このユニットを使用すると施工スピードが上がるのですが、実際に現場でその製品を使用することで、所感や要望をすぐに加工部署に伝え、製品改善につながるのが当社の強みではないでしょうか。他社に鉄筋の加工を依頼している会社では、そうは行きません。社内で現場と加工、両方を担っている藤工業ならではの強みだと思います。また、当社の経営陣は比較的従業員の意見に耳を傾ける雰囲気があり、そのような風通しの良さが現場や製品に反映されていると感じます。

## 若手社員へのメッセージ 自分の考えを諦めない

自分らしい意見を大事にして欲しいと思っています。そしてそれを、是非皆に共有してください。採用されることばかりではないかもしれませんが、口にする前にあきらめず、伝えてみる事が大切です。話してみれば、なにか変わるかも知れませんが、また、自分を高めるための勉強などを積極的にに行い、互いに切磋琢磨できたらと思います。

## 藤田'S TIME

～藤田社長が語ります～

2月の決起大会を踏まえて、この1か月を振り返っていただきました。藤田社長の気づきを活かし、課題をクリアしていきましょう。

代表取締役社長

藤田 清志さん



### この1か月はミスが多発

48期が始まって1か月が経過しましたが、ミスとクレームが非常に多く発生しています。これらは未然に防げるもったいないミスであり、お客様にもご迷惑をおかけしています。3月だけでミスが20件以上も発生しているため、会社の損失にもつながってしまうでしょう。5%の給与アップや定時昇

給を実施しましたが、会社にとっては決して余裕のある状況ではありません。こうしたもったいないミスが続くと、来期には同じような施策が難しくなります。作業手順書に立ち回り、基本を見直してミスクレームが発生しているポイントを早く洗い出し、対策を立てなければいけません。

### 会社の備品やお金を大切に

社員には「会社のお金を大切にしてほしい」と伝えたいと思います。1円でもむだになったらそれは「損失」であり、その結果社員に還元される資金が減ってしまいます。自分の財産のように一つひとつの仕事を丁寧にこなし、ミスやクレームのない環境を目指してほしいと思います。まだ今期が始まったばかりだからこそ、改善の余地は十分に

あります。私たちが掲げているのは、次の中期計画において55期にグループ全体で100億円を目指すという目標。日常の小さな積み重ねが、この目標達成につながるのです。ミスが多発すれば、お客様が他社に移ってしまう可能性もあるため、その影響を真剣に考えなければなりません。特に管理者には、危機感を持って業務に臨んでほしいと考えています。

## 第50回 藤っ子会 ゴルフコンペ 記念大会 を開催しました！

### 大会結果

- 優勝 阪和興業株式会社  
本城俊成様
- 2位 兼松トレーディング株式会社  
美和元尚様
- 3位 野原グループ株式会社  
原口芳和様



皆さん、ありがとうございました！  
また一緒に楽しみましょう！

## 5月のお誕生日

5月にお誕生日を迎えられる皆さん、おめでとうございます！

- 5/1 片岡 友紀さん
- 5/2 星野 陽子さん
- 5/2 VI VAN HOANGさん
- 5/2 SALAZAR JOHN FRYTZ DULMANさん
- 5/3 遠藤 沙枝子さん
- 5/4 TAGALOGON ANER JR. POSITOSさん
- 5/7 遠藤 優さん
- 5/8 佐々 正和さん
- 5/9 中村 洋子さん
- 5/9 DAO HONG QUANさん
- 5/12 伊藤 直子さん
- 5/14 SUSTENTO ROMMEL BAYONAさん
- 5/15 松本 和彦さん

- 5/15 LE XUAN TUANさん
- 5/15 DEMARUEL JERIEL GALFOさん
- 5/16 塩賀 和義さん
- 5/16 五月女 竜也さん
- 5/16 YAPCHING JOHN KEBEN MIRANDAさん
- 5/17 AMAT TONY MANALASTASさん
- 5/18 HUYNH CONG VANGさん
- 5/20 NGUYEN VAN THIENさん
- 5/20 中村 力さん
- 5/20 平 亮太さん
- 5/25 濱野 悠さん
- 5/28 小賀坂 大志さん
- 5/29 西居 千亜紀さん
- 5/30 HOANG VAN DUさん
- 5/31 斉藤 高史さん
- 5/31 明智 昭次さん

皆さん  
おめでとう  
ございます！